

(DAY 1)

研修1日目は、主にブリズベン市内観光と、ホストファミリーとの対面がありました。

午前中は、My.Coot-tha の後にクイーンズランド美術館を見学し、お昼は Southbank Parklands でとりました。景色を楽しむため美術館から公園までの割と長い道のりを歩いたので、割と大きなハンバーガーも多くのみんながペロリと平らげていました。

その後メイン通りを散策し、博物館を経てホストファミリーの待つ Groves Christian College へ。初めは緊張した面持ちのみんなも、ホストファミリーと対面すると和らいだ表情へと変わりました。

明日から学校が始まります。

写真は、ブリズベン市内の公園にある「BRISBANE」という大きなオブジェの前で撮った集合写真です。



(DAY 2)

今日は初めての登校日。

ホストファミリーとの初めての朝食を終え、制服に身を包み、みんなが Groves Christian College (GCC) に集いました。

GCC の校舎を見学したあと、いよいよバティーのご対面! 初めは恥ずかしがりながらも、すぐに打ち解けて互いに笑顔がこぼれていました。

その後は二つのグループに分かれて英語の授業を受けています。文化的にイギリスに習うところがあるオーストラリアでは、Morning tea という休み時間があります。その時間中に、バティーと軽食を取って談笑する様子が見られました。

ホストファミリーが用意してくれたランチを楽しむ時間まであと少し。ホストファミリーやバティーとの関係で役立つ会話術や心得を含む英語の授業にも熱が入っています。

ランチの時間は、構内のあらゆる場所(芝生、ベンチ、カフェテリアなどなど)でバティーやその友達と共に楽しむ姿が見られました。その後、英語の授業が再スタート。

15:10 に授業が終わり、ホストファミリーの迎えを待つ間明日以降に備えてのミーティングが行われました。このミーティングは、登校日は毎回行われます。帰りの HR のようなものです。

二日目に入り、楽しいことばかりではなく、思うようにいかないことが大なり小なりそれぞれの中で出てきているのではないかと見受けられますが、コミュニケーションを深めると共に経験値を上げるエッセンスとしてポジティブに捉えいく力を生徒たち一人一人が持っていてくれていると感じています。

明日はホストファミリーを交えての BBQ パーティーです。

Tomorrow is another day!



(DAY 3/4)

研修三、四日目は、オーストラリアに来てから初めての週末。

土曜日には午前中に晴天の下ホストファミリーを招いての BBQ パーティーが行われました。

前日に、余興として合唱を披露したらどうかと現地スタッフからオファーをいただきました。オーストラリアでは、宗教曲以外に合唱の機会はないそうで、ホストファミリーの皆さんに喜んでもらえるとのことでした。

みんなに提案してみたところ、快諾!

GCC で披露する予定の「さくら」(森山直太郎さん) の歌声が、公園の芝生の上でホストファミリーの見守る中優しく響きました。

その後、食事と共に穏やかな時間が流れ、遊びや会話を楽しむ姿も見られました。

午後と翌日曜日はそれぞれのホストファミリーとの時間です。

月曜に学校でどのような休日を過ごしたかシェアすることが楽しみです。



(DAY 5)

研修 5 日目は、GCC での英語の授業と調理実習。天気は晴れて、日中は記録的な暑さ(36 度!!)となりました。

調理実習では、ラミントンケーキというケーキを作りました。スポンジにチョコレートソースをコーティングし、ココナッツをまぶしたケーキです。オーストラリアの伝統的なケーキを作り、また一つ異文化に触れる機会となりました。

明日は小学校でのプレゼンと昔遊び、そして老人ホームでの合唱披露です!



(DAY 6)

研修 6 日目は、オーストラリア研修のビッグイベントともいえる、GCC 小学校での昔遊びと老人ホームでの合唱披露&日本文化のプレゼンがありました。

昔遊びは、9 つのグループ(折り紙、お手玉、けん玉、習字、当て字、かるた、福笑い、浴衣体験、おはじき)に分かれ、小学生に遊び方を教えるとともに一緒に遊ぶ体験。無邪気な小学生たちに交わり、終始笑顔が絶えませんでした。

続いて、GCC からバスに乗り、ブリズベン市街地にあるクイーンズランド大学へ向かいました。そこで 7 人の日本人学生に構内を案内してもらいました。この日は前日を上回るほどの猛暑。大学とは思えないほどの賑やかで豊富なフードコートで飲むジュースは格別でした。

東京研修の際に見学した日本の大学と海外の大学の違いを体感できた機会ともなりました。

次は、老人ホーム訪問。

最初に「さくら」の合唱を披露しました。今回はピアノの伴奏も入った合唱で、利用者の皆さんは喜んで聴いてくださっていました。

その後、生徒一人一人による日本文化プレゼン。伝わるように精一杯発表している姿が印象的でした。さらにフリートークを挟み、交流を深めました。お別れの際は互いに寂しい気持ちになるほど、心を通わせられた様子が見受けられました。



(DAY 7)

今日もプリズベンは快晴でした。

日本を出発してから今日でちょうど1週間。

校舎を歩く生徒たちの姿は、マルチカルチャーの生徒たちが学ぶ GCC の風景に自然と馴染んできたように感じます。

今日はバティーが履修している授業を体験する初日。染谷でいう朝 SHR をバティーのクラスで過ごし、9時からそれぞれの授業教室に移動しました。どの科目も講義式の授業はほとんどなく、基本は生徒が一人一台持っているラップトップを利用した自主的な学びの場となっていました。数学の説明が理解できたと感動している生徒、体育の授業でバティーと一緒に汗を流した生徒など、それぞれの体験ができた様子です。

明日も引き続き、バティーとの授業体験です。



(DAY 8)

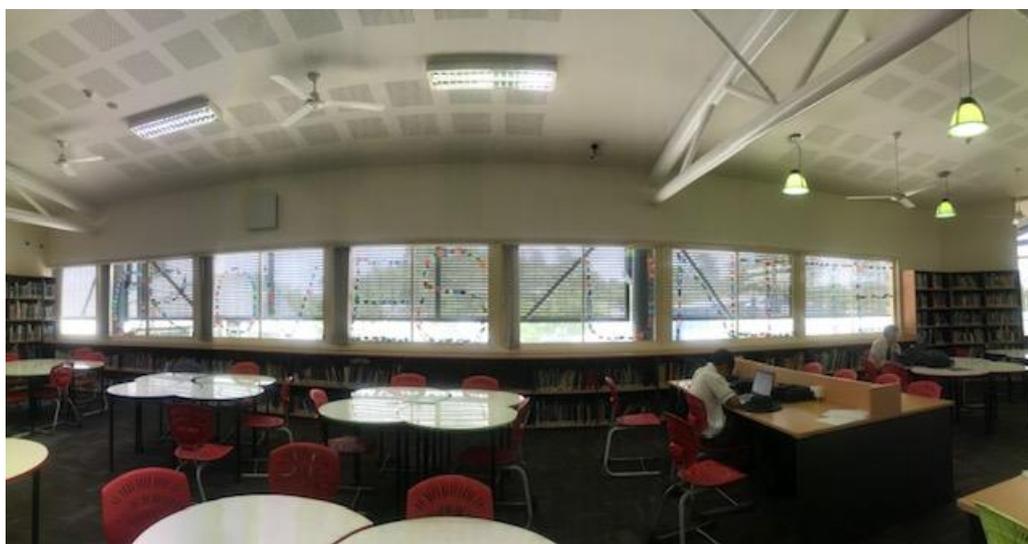
研修 8 日目の今日は、比較的過ごしやすい陽気でした。

昨日に引き続き、バテイーの受けている授業を体験しました。

GCC では、Bullying No Way プロジェクトといういじめをなくす取り組みの一環として、紙の輪っかに「学校をより安全な場所にするためにできること」や「自分自身に誇りを持って生きるために大切なこと」を書いたものをつなげて、生徒たちの団結心を表す作品を作り上げ、図書館に飾っていました。その取り組みに授業を通して生徒たちが参加できていたことはとても素晴らしいことであると感じました。

(添付の写真は、図書館に飾られたものです。GROVES UNITE という文字になっています。)

明日は GCC の生徒としての最後の登校日です。一瞬一瞬を大切にかみしめながら過ごせますように。



(DAY 9)

こんばんは。

研修9日目の今日は、昨夜の嵐の後か、スッキリとした気持ちの良い気候でした。

ついに GCC での学生生活も最終日を迎えました。朝の SHR では、折り紙で鶴を折る光景が見られました。折り鶴は海外でも割と浸透していると思いきや、知っているのと実際に折るのとでは大違いのようで、作り上げたときには感動が大きいようです。それに貢献している生徒の姿を見ることができて嬉しく思いました。

13:00 からメインホールでバティーとお別れ会が行われました。スピーチの後、さくらの合唱を披露。バティーや先生の中には涙ぐむ人の姿も見られました。

その後、修了証を GCC 高等部の責任者 James 先生から一人一人受け取り、記念の品(GCC のナップサックとコアラのぬいぐるみ等)をバティーからプレゼントされました。

ランチはバティーを交えての BBQ。写真を取り合ったり、プレゼントや手紙を渡しあったりと、思い思いの時間となりました。

午後の授業を終え、本当のお別れを迎えました。抱き合い別れを惜しみ合い、再会を誓う姿も見られました。

生徒一人一人が、それぞれの体験をしたことと思います。関係を深められた生徒、思うようにコミュニケーションがとれなかった生徒も中にはいたはずですが、この高校一年の三月に、オーストラリアに行くことを決意し、実際に行動し、現地の学生と出会い、同じ時間を過ごして共に学んだという経験は確かなものです。そこに誇りを持って、自信をもって、これからの糧としていってもらえたらと願います。

明日と明後日は、ホストファミリーと過ごす最後の休日です。それぞれが充実した時間を過ごせますように。



(DAY12)

研修 12 日目の今日は、遠足ということで海が見える Surfers Paradise と、コアラなどの動物に触れ合える Currumbin Wild Sanctuary に出かけました。

雨の予報だったにもかかわらず、すべての行程で日傘以外に傘を使うことはなく、青空と虹に恵まれました。12 日間のご褒美ともいえるようでした。

そして、ホストファミリーと過ごす最後の夜。

嵐が来るとさえ言われた夜空には、しっかりと南十字星が見えました。

明日はついに帰国の日です。



(DAY13)

今朝ホストファミリーや現地スタッフとの別れを経て、無事にブリズベン空港を出発し、現地時間時(シドニーは日本と2時間の時差があります)にシドニー空港に到着しました。

全員元気です!

これからシドニー観光に出かけます。



無事にシドニー観光(オペラハウス、マッコリー岬など)を終え、ただ今シドニー空港の搭乗ゲートでカンタス航空便を待つばかりです。

皆変わらず元気です!

機内でゆっくり休み、元気に帰国します。

